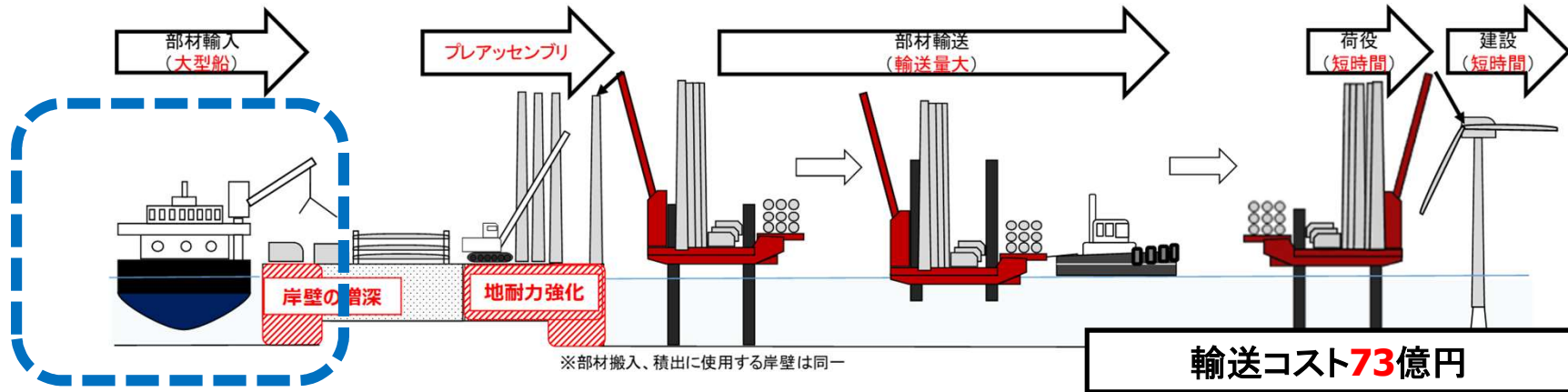


# 事業における便益の考え方 便益① 船舶の大型化等による海上輸送コスト削減

○ 岸壁を整備することにより、大型船を用いた海上輸送が可能となり、海上輸送コストが削減される。

【with】

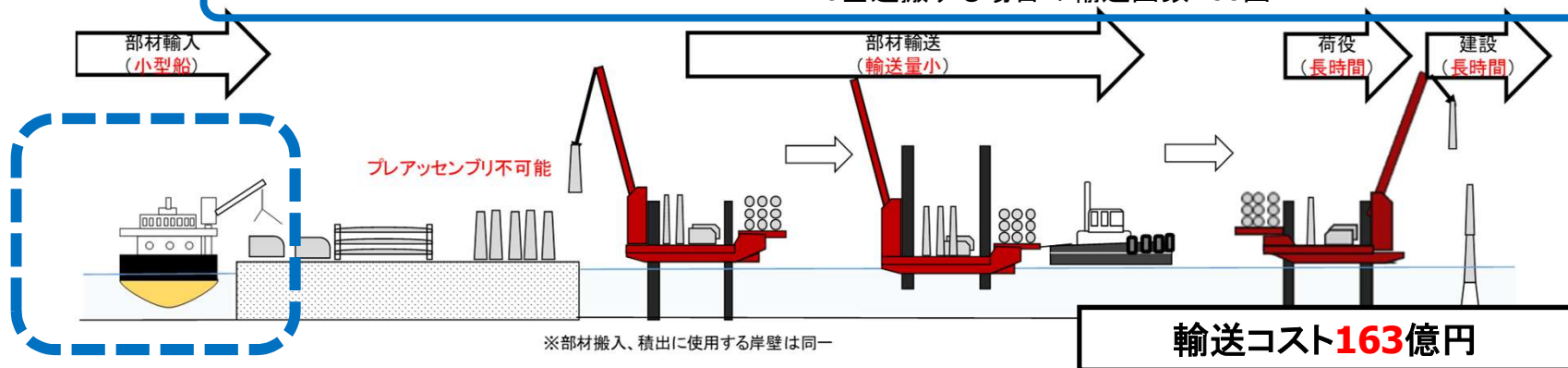
【with】 1.3万DWT級貨物船 ⇒ ナセル10台 or タワー5セット or ブレード5セット  
⇒ 70基運搬する場合の輸送回数 35回



※割引前の合計額

【without】

【without】 0.7万DWT級貨物船 ⇒ ナセル4台 or タワー2セット or ブレード2セット  
⇒ 70基運搬する場合の輸送回数 88回



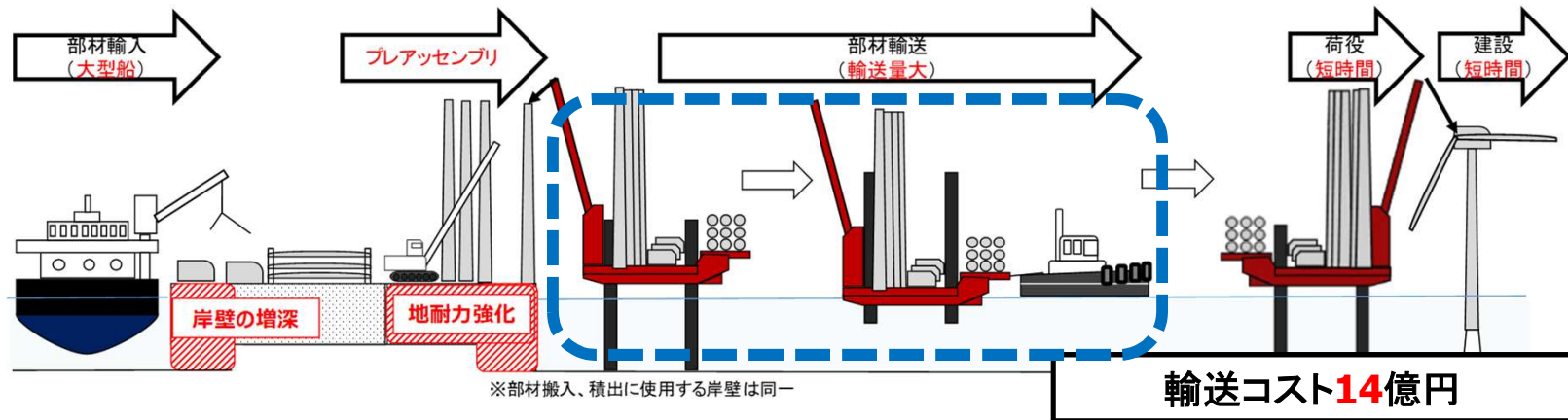
※割引前の合計額

# 事業における便益の考え方 便益② 輸送作業の効率化

○ 地耐力を強化することで、プレアセンブリが可能となり、洋上風車設置箇所までの海上輸送が効率化

【with】

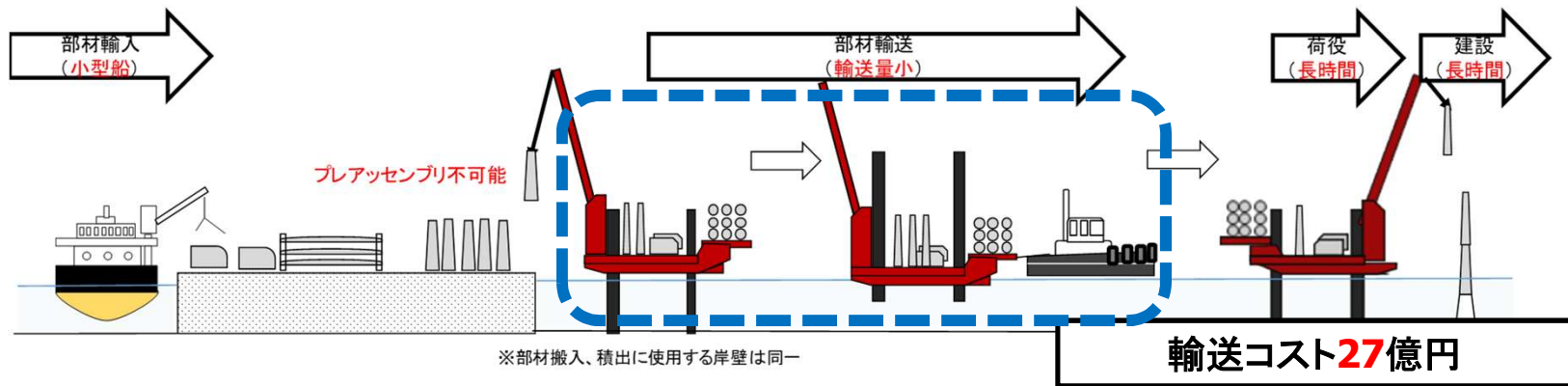
【with】 風車2基分の部材 ⇒ 70基運搬する場合 35往復



※割引前の合計額

【without】

【without】 風車1基分の部材 ⇒ 70基運搬する場合 70往復

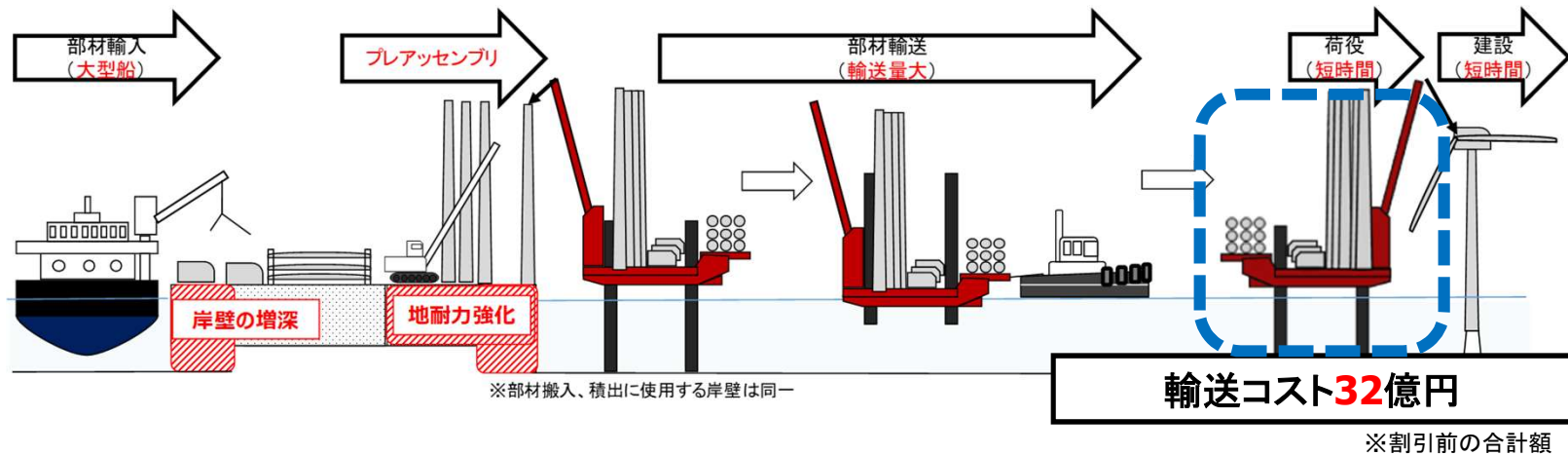


※割引前の合計額

# 事業における便益の考え方 便益③ 荷役作業の効率化

○ 地耐力を強化することで、プレアッセンブリが可能となり、洋上風車設置箇所での荷役作業が効率化

【with】



【without】

